

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 非行・問題行動の未然防止
-----	----------------

施策主管課	子ども未来課	総合計画記載頁	119ページ
-------	--------	---------	--------

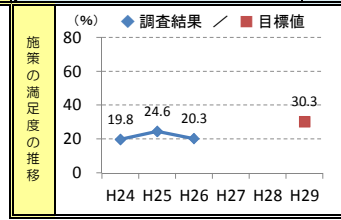
1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	12 健全な青少年を育成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	青少年が、さまざまな人とのかかわりの中で、成長段階に応じた社会性を身につけ、心身ともに健康に成長し、社会の一員として充実した生活を送っています。
------	------------------------	----------------	----------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	青少年が非行や問題行動等を起こすことなく、健全に生活しています。
------	----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)								評価	② 市民意識調査結果 指標2	指標名(単位)								評価		
	初発型非行検挙補導人数(20歳未満)(人)		単年度目標値	H24	H25	H26	H27	H28			H29(目標年)	施策の満足度(%)		調査結果	H24(現状値)	H25	H26	H27		H28	H29
指標1	現状値(H23実績)		270人	実績値	173人	181人	120人			A	目標値(H29)		30.3%	前年度からの増減						B	
	目標値(H29)		270人未満	単年度の達成度	156.1%	149.2%	225.0%				③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)										B
① 施策指標	現状値(H24実績)			単年度目標値						【参考】中核市等との水準比較	中核市平均										
	実績値										中核市での本市の順位										
	目標値(H29)			単年度の達成度							中核市平均										
	実績値										実績値										
現状値(H24実績)			単年度目標値							中核市での本市の順位											
目標値(H29)			単年度の達成度							実績値											



※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上] 概ね順調:(主にB評価が2つ以上 [65点以上90点未満]) やや遅れている:(C評価が2つ以上 [65点未満])		

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	全国的な傾向として、青少年の非行は、学校生活への不適応、地域環境やマスメディア・インターネット等を通じた有害情報との接触などが背景となっている。全国的に少年犯罪は減少しているが、依然として青少年による凄惨な事件やいじめに起因する事件の発生や、コミュニティサイト(SNSやプロフなど)の利用に起因した犯罪被害に遭う青少年が増加している。	市民満足度	「青少年非行防止対策事業」の巡回指導活動等に継続的に取り組んでいるものの、全国的に影響を与える青少年の犯罪被害などの社会問題化により、市民満足度については微減となっていると考えられる。	総合評価	83点
施策指標	「初発型非行検挙補導人数」については、「栃木県青少年健全育成条例」に基づく、青少年のための良好な社会環境の整備の推進や、地域や学校等と連携して巡回指導等を実施してきたことなどにより、平成26年度も目標値を達成している。			概ね順調	

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	青少年非行防止対策事業費	★	・巡回指導や青少年相談活動の充実 ・非行防止のための市民の意識醸成	市民	巡回指導時の声かけや非行防止講演会・一日巡回指導体験等の啓発活動	計画どおり	8,242	S39		青少年が自立に困難を抱え込まない(非行やニート・引きこもり等に陥らない)環境づくりのため、地域や学校等と連携し巡回指導に取組むとともに、非行の未然防止に対する市民意識の醸成を図る。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆青少年を取り巻く有害環境等の変化に対応し、青少年が非行や問題行動を起こすことなく健やかに成長できるよう、関係機関・団体との連携強化を図りながら、保護者や地域住民の青少年の生活環境に対する理解を促進する必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆非行等の未然防止や早期発見、早期対応に向けて、引き続き、地域や関係機関・団体との連携や、保護者や地域住民の非行防止に係る意識の醸成を図り、事業を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>〈その他個別事業〉</p>